

HIV陽性の方の相談窓口のお知らせ

- ・通院のために平日仕事を休むことについて気をつかう
- ・職場に病名を告知しなければいけないのか悩む
- ・就業中決まった時間に服薬することがしんどい
- ・職場の健康診断や健康保険を使うことにより情報がもれないか不安
- ・病気について誰にも話すことができない など

こんな心配がある、
こんなことで相談したい、
ちょっと話がしたい、
と思ったときは・・・

相談窓口があります

① あなたが通院中の病院

服薬や通院、健康保険、障がい者手帳の取得などについては、あなたがHIV感染症の治療で通院中の病院内に相談窓口があります。
また、就労や介護・福祉サービス利用についても相談いただけます。

**あなたが相談しやすいスタッフに
声をかけてみてください**

② NPO法人 CHARM (チャーム) の 陽性者総合相談窓口

HIV感染症や、生活や職場での悩み、老後の不安などについて、陽性者の仲間や医療スタッフに相談したい・話をしたい方のための相談窓口です。

<https://www.charmjapan.com/charmsoudan/>
(SO・SO・SO 総合相談窓口)

◆HIV陽性の方を対象にアンケートを実施しました (令和2年11月1日～令和3年1月31日)

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました

対象：患者数200人以上のエイズ治療拠点病院に通院または入院中のHIV陽性の方
内容：就労や介護・福祉サービスにかかる悩みや不安について

◆主な結果 (配付数 1473人 / 回答数 859人 / 回収率 58.3%)

性別割合	男性(97%)、女性(1%)、その他(1%)、未回答(1%)
年代別割合	40代(35%)、50代(26%)、30代(22%)、その他(17%)
診断後の 期間別割合	10～20年(37%)、5～10年(31%)、3～5年(15%)、その他(17%)
就労の悩み について	「 悩みがある 」と回答した人が285人(33%)おられました 「病名が職場にばれないか心配」、「通院時は病気以外の理由で休んでいる」、「再就職する際に仕事が見つかるか心配」、「体調が安定せず長時間働けない」など
在宅・通所・入所 サービスの対応 について	何らかのサービスの利用が必要な人で、受入を拒否されたと「 感じたことがある 」または、「 感じたことがあるかどうか答えたくない 」と回答した人は14人(1.6%)おられました 「受入可能なサービス事業所は見つけにくいと言われ、不安になった」、「HIV陽性者への接し方がわからないと言われ、拒否されていると感じた」、「介護サービスの利用について不安はあるが相談しにくい」など

◆今後の取組

就労の悩みや不安、介護・福祉サービスの利用などについて相談しやすい環境を整えていきます。



通院中の病院のスタッフに相談していただくほか、
CHARM (チャーム) の **陽性者総合相談窓口 (SO・SO・SO)** をご利用ください。